

# 千年の森便り No.118

2013.7.19

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

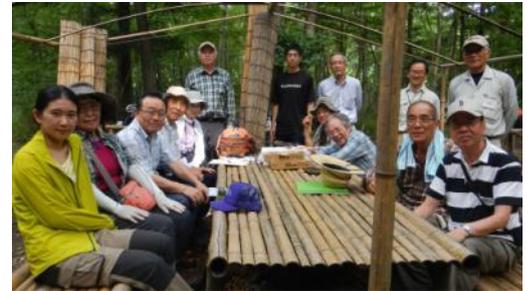
事務局長 伊藤道男

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

7月15日(月・休日) 定例活動日 晴

参加は新井孝男、新井通子、伊藤、鶴沢、坂本文雄、根本、福島、松田、真鍋、宍、村野、山口、12名の会員に船橋の田島さん、東京大学奈良研究室の賈舒征ジャー・ジョセイさんも加わり総勢14名。全員で相対照度調査の後、各グループに分かれて、キノコ観察、植物観察、野鳥観察、昆虫観察などを行い、最後に老朽化したトビの巣ブラインドの撤去作業を行いました。(真鍋)



猛暑の一日、森の活動を楽しみました

## ○相対照度調査

午前中の最初の仕事は、恒例の相対照度調査です。豊英島では、落葉期と着葉期の年2回測定を行っており、今回は着葉期の測定になります。使用した機材は、照度計8台とトランシーバ9台です。測定者は8班に分かれ、つり橋の中央の開けた場所と林内7箇所に分散し、トランシーバで連絡を取り合いながら同時に照度を測定しました。相対照度は、開けた場所の照度に対する測定地点の照度の割合(%)で示します。測定箇所は、表に示した13箇所と、巨木林植生保護柵内(27点)、柵外(9点)です。

今回の調査で最も相対照度が高かったのは、コナラ更新林のヒメコマツ植栽地(58.1%)です。次いで、禁断の岬ヒメコマツ植栽地(26.6%)、コナラ更新林(21.7%)、千年広場(16.4%)となり、その他の林内は0.5~7.7%と低い値でした(表)。また、巨木林植生保護柵内は1.7%、柵外は2.3%でした。落葉広葉樹林といっても、夏の林床はかなり暗いことがわかります。相対照度の情報もだいぶ蓄積されてきたことから、今後はこれらのデータを植物の管理に生かしていきたいと思えます。(福島)



照度計とトランシーバ操作のリハーサル

表 相対照度測定結果

測定箇所	相対照度(%)								
	2009.7.20 着葉期	2010.2.14 落葉期	2010.6.13 着葉期	2011.7.18 着葉期	2012.2.19 落葉期	2012.7.16 着葉期	2013.2.17 落葉期	2013.7.15 着葉期	
2-7モミ混じり巨木林	0.8	12.1	0.6	2.8	18.9	0.9	10.6	0.5	
2-13モミ混じり巨木林	8.1	49.3	8.6	3.3	47.5	2.2	39.9	2.7	
3-16シイタケ柵場	2.4	23.2	1.7	1.4	23.5	2.3	19.6	3.1	
4-16シイタケ柵場	1.0	16.7	1.5	1.0	24.1	4.8	15.1	1.9	
千年広場中央	23.3	65.6	18.0	18.9	61.7	16.4	58.4	16.4	
コナラ更新林の苗畑	27.1	74.7	31.8	19.3	58.9	14.0	61.1	21.7	
ホテイウク保護柵横	3.9	7.2	4.8	1.1	18.2	-	6.8	7.7	
マダケ保護柵の間	16.3	21.4	13.1	8.1	22.6	-	16.9	7.6	
ガマズミ	1.3	56.7	3.0	3.7	46.1	3.9	58.8	4.1	
ヤマユリ保護柵の中	9.8	69.5	5.9	3.5	49.2	5.7	50.2	4.3	
コナラ更新林ヒメコマツ			64.1	41.0	86.5	42.0	75.3	58.1	
岬ヒメコマツ			57.5	54.2	86.8	22.5	54.6	26.6	
スハマソウ北斜面					19.1	2.1	8.8	1.4	



一般財団法人

セブン・イレブン記念財団

この活動は、一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けています

## ○キノコ観察

いよいよ夏のキノコが出はじめました。この日観察したキノコは

キシメジ科-ハイイロシメジ属種

テングタケ科-コテングタケモドキ・ヘビキノコモドキ・カブラテングタケ

ハイカグラテングタケ

イグチ科-キイロイグチ・アメリカウラベニイロガワリの仲間・

ニガイグチモドキの仲間・アカヤマドリ・コガネイグチ・オニイグチモドキ

ベニタケ科-ウコンハツ・ヤブレベニタケ・ツチカブリ

タマショレイタケ科-ウチワタケ・ツヤウチワタケ

ニンギョウタケモドキ科-コウモリタケ

その他、同定できなかった数種。

この中で、カブラテングタケは清和地区では比較的容易に観察出来、今回は、市販の一流キノコ図鑑のサンプルより、はるかに立派なものが観察出来ました。（松田）



キイロイグチ(松田)



カブラテングタケ(松田)

## ○放射性セシウム測定

放射性セシウム測定用に次の5種類のきのこを国立科学博物館 保坂健太郎先生に送付しました。

ヘビキノコモドキ、カブラテングタケ、ハイカグラテングタケ(テングタケ科) ウコンハツ(ベニタケ科) コウモリタケ(ニンギョウタケモドキ科) (村野)

## ○野鳥観察記録(メモの順)

カワラヒワ声+囀り ハシブトガラス1+声 ホオジロ囀り カワウ8 ヒヨドリ2+声 ウグイス囀り スズメ声 メジロ声 オシドリ6 トビ2+声 コゲラ声 キジバト囀り シジュウカラ声 以上13種

ご常連のヤマガラ エナガの記録はありませんでした。今月の珍客はスズメで、昨年5月以来2回目の記録です。スズメは民家の周辺や農地では普通ですが、森林内ではあまり見かけません。子育ての時期は昆虫の幼虫を雛の餌にするので里地に近い森林にも入って来るようです。(坂本文雄)

## ○植物観察

「イチヤクソウと菌根菌の関係」を博士課程の研究テーマとした賈舒征さんと一緒にイチヤクソウの群落を探しました。数年前に比べ個体数は減ったものの、花期を終えた群落が数か所に残っていました。春に保護したツルリンドウが順調にツルを伸ばしていて、花と実が楽しみです。ヤマユリ保護柵内のヤマユリは日照不足のせいか衰退し、今年も花を見せませんが、日照のあるところには咲いていました。ホテイ岬のツチアケビは全滅、千年広場脇と島入口金網内にはそれぞれ1株残り、巨木林保護柵内に5-6株実をつけていますが、株も実も痩せて元気がありません。ナラタケからの栄養が少なくなったのか?何か他に原因が?(真鍋)



イチヤクソウ(宍)



ヤマユリ(坂本文雄)



ツチアケビ(真鍋)

## ○クロムヨウラン調査

クロムヨウラン 30 個体ほど見つかりました、うち千年広場近くの一個体が開花、開花時期は去年より早そうです。カビに覆われ死にかけている個体数が昨年よりも増えていて、原因調査の必要があります。(宍)

## ○昆虫観察

- ・青紫色の翅が美しいムラサキシジミがたくさん見られ、アラカシの枝に白い卵を産んでいました。
- ・地味な色のウバタムシが倒木にいました（幼虫がマツの枯木を食べる）。
- ・湖畔のクリの枝にウスタビガの繭がぶら下がっていました（成虫は晩秋に羽化する）。

この日、ムラサキシジミ、キタキチョウ、ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ、クロコノマチョウ、ヒメジャノメ、クロハグルマエダシヤク、ノンネマイマイ、ギンボシリング、ウスタビガ(繭)、マダラマルハヒロズコガ(幼虫)、ノシメトンボ、モンキジガバチ、クマバチ、オオスズメバチ、ハラナガツチバチ sp、ムネアカオオアリ、ヒメクロオトシブミ、ウバタムシ、エグリゴミムシダマシ、キマワリ、カナブン、ミヤマクワガタ(頭部死骸)、ニイニイゼミ、ヒグラシ(脱皮殻)、アオハハゴロモ(幼虫)、コガシラアワフキ、オオカマキリ(幼虫)、アミメクサカゲロウ、モリチャバネゴキブリ、以上 31 種の昆虫を観察しました（船橋市 田島正子さん）



ムラサキシジミ(田島)



ウバタムシ(田島)



オカトラノオにキタキチョウ(坂本文雄)

## ○環境整備

トビの営巣保護のためヨシズのパラネットを設置していましたが、昨年以來巣づくりの様子がなく、ヨシズが老朽化してバラけたので森の景観維持のため撤去しました。破損の少ないヨシズは他に再利用します。

千年の森広場の案内版の支柱や案内表示が朽ち、傾いたり内容が判明できなくなりましたので更新を予定しています。表示内容は現状を維持し「豊英島の目標林型模型、千年の森、豊英島、ちば千年の森をつくる会」等の文字を入れる予定です。現在支柱、看板、模型材料を調達加工中で8月の活動日までに制作完了、9月の活動日に設置を予定しています。（根本）

## お知らせ

### ○8月の定例活動日；夏のキノコ観察会：8月19日（月）

吹春講師をお招きし、夏のキノコ観察会を行います。添付の「夏のキノコ観察会」参照。9時30分木のふるさと館駐車場集合。公開行事のため一般参加者も募集し、定員45名で募集を打ち切ります。会員の参加希望者は伊藤事務局長 [sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp) 又は電話：090-6929-6811 宛 7月31日までに 申込み下さい。

### ○“ちば里山カレッジ” 受講生募集

開 催 25年9月14日（土）～26年2月の期間で計10回（座学5回 フィールド研修・実習5回）

募 集 30名（Max50名）先着順 但し10回の講座に出席し里山活動を希望する方

応募締め切り 8月末日

受講料 一般；10,000円 学生5,000円

開催場所 主として、緑化推進拠点施設（袖ヶ浦市 長浦）及び県内里山（移動はバス）

主 催 特定非営利活動法人ちば里山センター

後 援 千葉県ほか

申込・問合せ 特定非営利活動法人ちば里山センター TEL 0438-62-8895

E-mail: [info@chiba-satoyama.net](mailto:info@chiba-satoyama.net)

詳しくは [ちば里山カレッジ 受講生募集](#) [ちば里山カレッジ スケジュール](#)